



【令和 3 年度 吹上小学校通学路に関する報告】

R3. 6. 3(木)

吹上小学校

報告 1 洲崎橋を通学路として通る児童数(R3. 6. 3 現在)

1 6 8 名 (R2 度より +16 名)

[内訳] 1 年 (35) 2 年 (29) 3 年 (35) 4 年 (28) 5 年 (20) 6 年 (21)

[R2 比較] +6 -6 +7 +8 -1 +2

報告 2 吹上小学校としての安全対策

(1) 児童 ①通学路歩行時の安全指導の徹底

- ・ 右側を一列で歩く [歩道・路側帯]
- ・ 横断歩道、踏切の渡り方 [左右確認]
- ・ 雨天時の傘の差し方、歩き方
- ・ 車両との関係 (一旦待つ)

②交通安全教室の実施 (歩行の仕方・自転車の乗り方)

③朝の会、帰りの会等での交通安全指導

④通学班編制児童数の削減 (最大 9 名)

(2) 学校 ①朝の登校指導の実施と児童への指導

②一斉下校時における下校指導

③臨時的現地指導と確認

④通学路の安全点検実施 (目視)

⑤通学班編制時における登下校の仕方を指導

⑥通学路改善要望の申請 (鴻巣市)

(3) P T A ①登校指導 (輪番制による立哨指導) ※校外指導部

②下校見守り

③1 年生の下校同行

(4) 地域 ①スクールガードリーダーによる登下校の見守りと指導 (毎日安全ボランティアの 7 ~ 8 名の方が見守り)

②地域防犯パトロール (ボランティア) による登下校の見守り (毎日)

(5) 学校・P T A・スクールガードリーダーによる情報交換会の実施

※R3 度は、新型感染症罹患防止のため、地域の方の参加なし

報告 3 洲崎橋を通る児童数が増加した場合の安全対策

◎上記、報告 2 の内容を強化し、実施している。(特に洲崎橋~永勝寺・多数)

◆洲崎橋への歩道設置要望 (鴻巣市へ)

報告 4 通学路の変更について

◎現段階では、通学路の変更の考えはなし

【理由】①北新宿地区から、吹上小学校までの通学路として、現行のルート〈洲崎橋・榎戸踏切を通る〉には、路側帯・ガードレール等が設置され、児童の安全が確保できる。〈洲崎橋の所は、道幅が狭い〉

②北新宿踏切・新宿橋を通るルートでは、道幅が狭く、見通しのよくない箇所もあり、距離も長くなることから、登下校における安全性の確保が難しい。

③洲崎橋を通らず、鎌塚 5 丁目を迂回し、主要地方道行田東松山線に出て、榛名陸橋側道を通り、榛名陸橋を渡るルートも考えられるが、主要地方道行田東松山線の交通量、榛名陸橋側道・榛名陸橋付近の安全性を考えると、変更は厳しい。

④現在の通学路も、全ての区間が安全性が高いとは言えないが、通学路を変更することで、今以上の安全性が担保できるとは言いがたい。(指導の充実徹底を図る)